

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	市町村との連携が薄い為、情報交換が上手く出来ていない。	運営推進会議を通じて、現状の情報や運営のご意見をたくさん頂けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も出来るだけ、窓口に行き顔馴染みの関係を築く。 ・推進会議に出来るだけ参加して頂けるようにし、現状報告からご意見を頂けるような内容に工夫する。 	1年
2	6	直接的な身体拘束は行われていないが、スピーチロックに関しては、完全なゼロではないのではないか。と感ずることがある。	身体拘束とは。再確認・再認識・再勉強を行い、改めて言葉遣いに気を配る。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の理解を深める。 ・場面に合った言葉遣い出来るようになる。 ・気持ちに余裕が持てる様な業務体制。 	1年
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。